

としょかん つうしん

2月号



© Makiko Nemoto

2月号のテーマは「家族」です。おとうさん、おかあさん、おじいさん、おばあさん、兄弟・・・家族のおはなしはたくさんありますね。家族みんなで絵本を味わってみませんか？



「おじいさんならできる」

年少向け

フィービ・ギルマン作・絵
福音館書店

ヨゼフが赤ちゃんの時、おじいさんがすてきなブランケットを縫ってくれました。ヨゼフが大きくなるとブランケットは古くなりぼろぼろに。でもおじいさんはそれを見事にジャケットに変身させてしまいました。そしてまた古くなるとベストに・・・と、どんどん小さくなりながら、すてきなものに変身させていくのです・・・最後には？物を大切にすることを教えてください。



「ポケットのないカンガルー」

年中向け

H. A. レイエ エミイ・ペインさく
偕成社

お母さんカンガルーのケイティには、ポケットがありません。小さなフレディを他の子どものようにポケットに入れて、いろんなところへ連れていきたい。でも・・・。ポケットのことを考えるたび悲しくなりました。ケイティは他の動物のお母さんたちに子どもを運ぶ方法をたずね試してみますが、なかなかうまくいきません。そんなある日、街でポケットを売っていることを教えてもらいました。そこで出会ったのはたくさんのポケットを持った優しい男の人。体中ポケットだらけの幸せそうなケイティとフレディの顔に、思わずニコリしてしまいます。



「フランスのいえで」

年長向け

ラッセル・ホーバンさく リリアン・ホーバンえ
好学社

アナグマの女の子フランスに妹のグローリアが生まれました。おかあさんはグローリアのお世話で大忙し。フランスはやきもちをやき、好きなものをリュックにつめて家出をします。行き先は食堂のテーブルの下。そこでおとうさんとおかあさんはフランスがいけないことをとても淋しく思っている話を耳にしたのです。そこでフランスは、家出をやめて・・・。わがままを言うフランスへのおとうさんとおかあさんの対応が、愛情に満ちあふれています。「フランス」のシリーズで40年以上読み継がれています。